

NEWS

病院ニュース

2008年7月 第14号 (年4回発行)

1面	「未来開拓センター」オープン！ 心臓再生治療に朗報！
2面	日本の医学・医療の中心拠点に 千葉大学病院新病棟の披露と記念式典
3面	新人研修医・看護師からメッセージ 展望レストランで憩いのひとときを！ / GALLERY<亥鼻>
4面	<フリートーク>看護部長 吉川淳子 <亥鼻むかし・昔> 5 わが国では、厄除けの神として信仰 <トピックス> 老若男女を問わず必要な紫外線対策



千葉大学医学部附属病院

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1
TEL 043-222-7171 (代表)

http://www.ho.chiba-u.ac.jp/

心臓の再生治療に朗報！千葉大学医学部附属病院の循環器科長・小室一成教授の研究グループが、心臓の形成に重要な働きをするたんぱく質を発見したとして、このほどイギリスの科学誌「Nature」に発表しました。

現在、重症の心不全に対する治療法は、心臓移植しかありません

移植に代わる新療法に光

心臓再生治療に朗報！ 心筋分化誘導因子を発見した小室教授研究グループ

が、ドナーの絶対量が不足しているなど、多くの問題を抱えています。これに代わる治療法として期待されるのが心臓再生治療です。特に最近注目されているのは、ES細胞やiPS細胞のような多種の細胞に分化する能力を持つ幹細胞を心筋細胞に分化させ、それを機能低下した心臓に移植する細胞移植療法です。

しかし、心筋再生のための細

胞移植療法を実用化するには、いくつか解決しなければならぬ点があります。その一つは、幹細胞を高い効率で心筋細胞に分化させる技術を開発することです。

IGFBP 4たんぱくを発見

そこで小室一成教授の研究グループは、幹細胞を心筋細胞に分化させる能力を持った分泌因子の発見のための実験を行い、このほどIGFBP 4と呼ばれるたんぱくが、強力な心筋分化誘導因子であることを突きとめました。

実際に、ES細胞にIGFBP 4を添加したところ、心筋分

化効率10倍以上に増加したのです。さらに実験を重ねた結果、IGFBP 4は、単に心筋分化を起すだけでなく、正常な心臓の形成に不可欠な重要な因子であることが明らかになりました。

がん、骨粗鬆症にも応用の可能性

IGFBP 4は心筋分化ばかりでなく、がんや老化、肝臓病や腎臓病の治療にも有効である可能性があるため、今回の発見は、今後、心臓再生治療だけでなく、がんなど他の分野にも応用できる可能性があり、関係者の注目を浴びています。



無菌状態を保つ 未来開拓センター

先進医療の開発・実践拠点 オープン！

千葉大学医学部附属病院
未来開拓センター

先進医療の研究開発から臨床応用までを一元的に進める 未来開拓センターが、5月29日千葉大学病院の「ひがし棟」1階にオープンしました。同センターには、高レベルで無菌状態を保つ細胞調整室や遺伝子治療室などが設置されており、これまでの先進医療に関する研究成果をさらに発展させる一方、従来の医療では不可能とされてきた難病に関する新しい治療法の研究開発、実用化にも取り組み計画で、関係者の注目が集まっています。

千葉大学医学部では、これまでNKT細胞という特殊なリンパ球を使った肺がん、頭頸部がんの治療、サイトカンへ細胞から分泌されるたんぱく質による心筋梗塞治療など、数多くの先進医療の研究開発、臨床応用が行われてきま

ました。

同センターは、面積約1500平方メートル、ここに未来開拓推進部 未来開拓検証部 未来開拓臨床部 が置かれ、細胞治療、再生治療、遺伝子治療の研究から臨床応用まで、一元的かつ迅速に進められる体制が整ったことになりました。

また、末梢血単核球を利用した心筋梗塞治療、脂肪細胞を用いた

酵素補充療法といった先進医療の研究開発、実用化についても、近く着手することになっています。

このほか、同センターでは本学の理学、薬学、工学、園芸学部をはじめ、学外のかずさDNA研究所や製薬メーカーとの連携を強める方針で、これにより千葉大学医学部の進める先進医療の研究開発は、一層の進展が期待されます。

いの
はな

1+1=2ではない話

和漢診療科を持つ大学病院は、私の前任地の富山大学と千葉大学だけです。私たちは、日本の伝統的な医療である漢方と西洋医学を上手に活用して、最善の効果をj得ることをめざしています。

最近経験した一例は、脊柱管狭窄症のために手術をしたところ、皮膚の縫い目にできた小さな潰瘍がなかなか治らず、退院ができない患者さんがいました。そこで漢方薬を用いたところ、約2週間ですっかり良くなり、無事に退院することができました。

外科手術は、西洋医学の最も得意とするところですが、自然治癒力を高めるのは漢方の得意な分野です。東洋と西洋の知恵を活用すると 1+1=2 ではない結果が得られます。

「漢方」、「漢方」といっていたのでは、早期胃がんや脳腫瘍などの診断はできません。最先端の技術力を持つ当院でこそ、漢方を安心して活用できると考えています。

西洋医学の治療を受けて、もうひとつ結果がはかばかしくない時にば「和漢」を選択肢に加えてみてください。なお、和漢診療科は、完全予約制です。

(和漢診療科長・寺澤捷年)



心筋再生治療を説明する小室一成教授

学・医療の中心拠点に

千葉大学病院新病棟の披露と記念式典



河野陽一病院長

安全・高度な医療、地域貢献を誓う

千葉大学医学部附属病院の新病棟の完成を祝し、4月17日、記念式典が市内のホテルで関係者約220人が出席して開かれました。

式典では、河野病院長が式辞で、千葉大学病院の拡充整備計画や安全で高度の医療、優れた医療人の育成、千葉県の地域への貢献



齋藤康千葉大学長

などの決意を述べ、続いて齋藤康学長が立派な建物に相応しい、先端医療・高度医療の実践、より優秀な医師の育成、卓越した研究の発信を全学展開で行うと挨拶しました。

また、来賓として出席された文部科学省の土屋大臣官房審議官は「社会の医療ニーズに沿って、最先端医療を着実に実現してくれる



祝辞を述べる土屋文科大臣官房審議官



祝辞を述べる堂本千葉県知事

ことを強く期待している」と、また、堂本千葉県知事は、感染症の病床確保と治療体制を確立し、千葉県における感染症対応病院の中心として、さらなる貢献をいただけることにお礼を申し上げる」と語り、次いで武谷東京大学病院長も「素晴らしいハードウェアが備わり、最高の医療が展開するものと期待している」と祝辞を述べました。



スタッフステーション

千葉大学病院の拡充整備計画は平成11年に始まり、新病棟は平成17年2月の着工から2年7カ月の歳月をかけ、平成19年9月に竣工。新病棟は従来の病棟の東側に位置し、地上11階、地下1階建てで、延床面積約2万6000平方メートル。総工費は約92億円をかけた完成しました。

病室の療養空間・アメニティの向上

昭和53年3月に開院した既存病棟は、開院から30年余りを経過し、建物・施設の老朽・狭隘化により、現在の診療、教育、研究を担うには十分な機能を持つ施設といえなくなり、病院全体の拡充整備計画を行うことになったものです。拡充計画にあたっては、「患者中心の診療体制の確立を基本目標とし、「病室の療養空間・アメニティ



展望レストラン(11F)



展望レストラン脇の患者さん用図書室(11F)

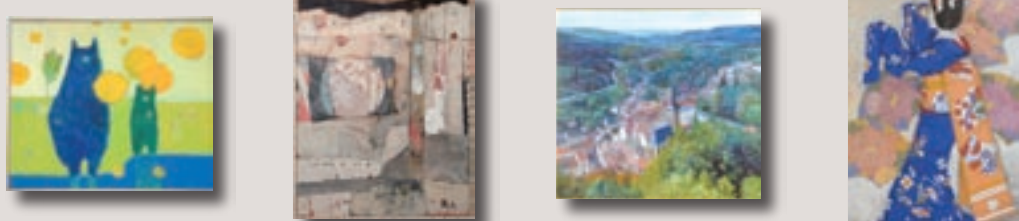
の向上を主眼に、時代に応じた医療が提供できるよう整備を進めており、新病棟は入院生活を快適に過ごしていただくための特別病室の設置や緩和ケア病床・展望レストランも配置され、このほかにコンビニエンスストアやコーヒーショップも出店しています。また、総合大学としての特徴を生かし、千葉大学の教育学部・工学部・園芸学部と協力し、絵画・彫刻等の展示、観葉植物の配置など、従来にない療養空間を創造している点も注目されました。今後さらに、既存病棟の改修、外来診療棟の増築等が予定され、これにより、病院全体が装いを新たに生まれ変わることになります。



緑が植え込まれたタリーズ脇の中庭

GALLERY 亥鼻

「ひがし棟」のロビーや廊下には、千葉大学教育学部、工学部の学生などが描いた絵が飾られ、さながらミニ美術館の雰囲気。患者さんや見舞いに訪れた人々を楽しませています。



新人研修医・看護師からメッセージ

今年4月、千葉大学医学部附属病院では、研修医84名、看護師186名を採用しました。すでに、病院内のさまざまな職場で、その姿が見られますが、その中から次の4人に志望動機や現在の仕事、将来の夢、趣味など、コメントを寄せてもらいました。

毎日成長していることを実感！〔研修医〕馬詰 智子



教育をしっかりとしていただける所で働きたい と思い、千葉大学病院をめざしました。循環器内科、消化器内科と2ヵ月交替で回っています。どの職場も、教授をはじめアットホームな雰囲気の中、先輩方の熱心な指導と教育で考える力がつき、成長していると感じています。

毎日のように入院患者さんが来られる中、大学病院はそれだけ期待されていると思います。キャパシティを超えての仕事も多いのですが、研修医として患者さんから信頼される医師になるよう、総合的な医学の力を付けていくことが大事だと思います。

休みの日でも、患者さんの様子が気になって見に行くこともあり、バレーボールに親しむ機会がないのがちょっと残念。今はシッカリ教育を受け、自分を高めたいと頑張っています。(東京都出身、富山大学医学部卒)

「一番人に役立つ職業は医師」と思って〔研修医〕吉野 晃平



研修医として、身に付けることが山のようにあります——。糖尿病・代謝・内分泌内科、循環器内科と回っていますが、毎日のように新しい発見もあり充実しています。自分の人生を考えた時、「一番役に立つ職業は医師」と思っていますので、辛いと思ったことはありません。2年の研修期間を生かして、患者さんがスムーズに退院し、その後の生活が送れるような医師になろうと思っています。

空手、水泳、ゴルフ...とスポーツ好きですが、最近体がなまってきています。寝不足で体調を崩した時、患者さんの気持ちがよく分かりますね。

休日でも患者さんの病状が気になり病院へ顔を出しています。“当たり前”の医者になれるよう研修期間中を有意義に過ごしたいと思っています。(東京都出身、千葉大学医学部卒)

この道を究めるまで全力投球で〔看護師〕藪木 美穂



岡山大の中だけでなく、千葉大学病院へ入り勉強したい——と思っていた時、合同説明会で教育専任の奥平看護部長の話聞いて決心しました。

千葉大学病院は、長期展望に基づく人材育成プログラムがシッカリしています。先進医療の研修プログラムや専門看護師の道が開かれているなど、スキルアップを図るには十分な環境が揃っているところが、私にとって何よりの魅力。5~6年かけて、信頼され責任ある看護師になろうと思っています。

休日は、プリセプターにレポートを提出するなど...。映画鑑賞が趣味ですがしばらくはお預けかも...。「人と関わる仕事に就きたい」と思い、自分で選んだ道です。看護師の道を究めるまで全力で頑張っていきたいと思っています。(島根県出身、岡山大学看護学部卒)

患者さんの心の支えになれる看護師に〔看護師〕渡邊 賢治



最新の医療が強調される大学病院において、私たち看護師に求められる役割を改めて考えるようになりました。学生の頃は、患者さんの心ばかりに目を向けていましたが、機敏に働く先輩方に囲まれたこの数ヶ月の間に、確かな技術があってこそ大きな安心感があることを実感しました。独立した教育専任スタッフの存在は非常に心強く思います。休日は、昔から続けているバイオリンを弾いて気分転換を図るようにしています。学生時代には、院内クリスマスコンサートにも出演させていただいており、今後もぜひ続けていきたいと思っています。

今は、ひとつひとつの技術が確実に続けられることを目標にし、いつの日か、多くの患者さんの心の支えになっていることを信じて、頑張っていきたいと思っています。(茨城県出身、千葉大学看護学部卒)

看護師・助産師募集！

千葉大学医学部附属病院では、新病棟 ひがし棟が今年5月にオープンし、看護体制も「7人の患者さんに1人の看護師」となりました。今後も、より質の高い看護を提供すべく、次のとおり看護師及び助産師を募集します。

応募資格 / 平成21年3月卒業見込みで、看護師・助産師免許取得見込みのある方、または既に免許を取得されている方

求人数 / 約100名

採用予定日 / 平成21年4月1日

《本院説明会・見学会》

第1回 / 平成20年8月4日(月)~8日(金)

第2回 / 平成20年9月1日(月)~5日(金)

《インターンシップ》

実際の看護を体験してみませんか？

第1回 / 平成20年8月18日(月)~22日(金)

第2回 / 平成20年8月25日(月)~29日(金)

説明会及びインターンシップ参加希望の方は、お名前 学校名 学年 参加希望日 連絡先を記入の上、開始日の7日前までにメールにてお申し込みください。

なお、遠方の方には宿泊料の援助もいたします。

E-Mail kango@office.chiba-u.jp

お問合せ先 /

総務課人事係 043(222)7171(内線:6021)

看護部副看護部長室 043(222)7171(内線:6519)

http://www.ho.chiba-u.ac.jp/recruit.html

日本の医



ヘリポートを備えた新病棟(ひがし棟)

展望レストランで 憩いのひと時を！

「ひがし棟」11階にあるレストラン「ヴァンセーヌ」では、千葉市内を一望しながら、和・洋の食事や、サンドイッチ、スイーツといった軽食も楽しめます。

冷凍食品は一切使わず地元産の新鮮素材を使い、スープやソースまで手づくりこだわり、食の面からも健康に配慮しています。



天くう定食



ハンバーグ定食

